

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜北西高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	19
学校施設の概要	20
在籍生徒調	22
入学志願者及び入学者数調	23
卒業生の動向調	24
生徒の状況	25
授業料収納状況調	26
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	27
預金調	28
郵券等受払調	29
材料品受払調	30
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	31
委託料に関する調	32
負担金支出調	35
建築工事調	37
公有財産調	41
借地借家等調	43
行政財産貸付・使用許可調	44
普通財産・借受財産等貸付調	44
職員公舎管理状況調	45
主要備品調	46
生産物受払簿	47
職員調	48
職員の年齢調	51
健康管理	51

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和53. 1.23 静岡県議会臨時会において、昭和54年度に高等学校3校を新設することが議決される。
- 3.20 設置場所を浜北市新原4175番地の1に決定する。
- 12.15 静岡県議会11月定例会において、校名が静岡県立浜北西高等学校と議決される。
- 12.22 昭和54年度入学定員を225人と決定する。
54. 2. 7 設立準備事務所を県立浜名高等学校内に開設する。
- 3.22 第一期校舎建築工事竣工
4. 6 開校入学式を浜北市民体育館にて挙行、第一回生251人が入学する。
55. 3.25 第二期校舎建築工事竣工
4. 1 入学定員が360人となる。
9. 2 体育館建築工事竣工
56. 3.26 第三期校舎建築工事竣工
- 5.30 プール建設工事竣工
11. 4 夜間照明施設建設工事竣工
57. 3. 1 第一回卒業証書授与式を挙行、250人が卒業する。
4. 1 入学定員が315人となる。
58. 4. 1 入学定員が360人となる。
62. 3.25 西校舎増築工事竣工
4. 1 入学定員が405人となる。
- 63.11. 5 創立10周年記念式典挙行
- 平成元. 4. 1 入学定員が450人となる。
2. 4. 1 入学定員が405人となる。
4. 4. 1 国際文化クラスを設置する。
5. 4. 1 入学定員が430人となる。
- 7.18 国際文化クラス第一回海外研修(オーストラリア)を実施する。
6. 4. 1 入学定員が378人となる。
7. 4. 1 入学定員が369人となる。
8. 4. 1 入学定員が360人となる。
9. 4. 1 入学定員が400人となる。
10. 4. 1 入学定員が360人となる。
- 11.11 創立20周年記念式典挙行
13. 4. 1 入学定員が320人となる。
- 14.12.25 第二期、第三期建築校舎の耐震補強工事竣工
17. 4. 1 入学定員が280人となる。
- 12.16 体育館耐震補強工事竣工
18. 4. 1 国際文化クラスの募集を停止する。
19. 4. 2 文部科学省から「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」推進校に指定される。
- 12.10 第一期建築校舎の耐震補強工事竣工
20. 9. 1 普通教室24教室への空調設備設置工事竣工
- 11.15 創立30周年記念式典挙行
- 21.11.30 第2学年がグアムへの修学旅行を実施する。
22. 3.31 文部科学省の「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」推進校の指定を終了する。
4. 1 入学定員が320人となる。
23. 4. 1 入学定員が280人となる。

キャリア教育サポートセンター事業開設

- 23. 9.26 第2学年が沖縄への修学旅行を実施する。
- 24. 4. 1 入学定員が320人となる。
- 30. 8.19 タイ シリントン学校に研修生10人を派遣する。
- 11.15 創立40年記念式典挙行
- 令和 3. 4. 1 入学定員が280人となる。
 - 6. 2 静岡県教育委員会より「グローバル・ハイスクール」に決定される。(令和3～5年度)
- 令和 6. 4.16 文部科学省より「DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)」に採択される。
 - 5.28 静岡県教育委員会より「グローバルハイスクール」に指定される。(令和6～7年度)
 - 7.19 静岡県教育委員会より「行きたい学校づくり」推進事業における探究学習推進の拠点校(浜松北部地区)に指定される。(令和6～8年度)
- 令和 7. 4. 1 入学定員が240人となる。
 - 4.19 文部科学省より「DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)」に採択される。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>校訓「自己を拓く」のもと、自らの手で無限の可能性と豊かな未来を切り拓く生徒を育成します。</p> <p>さわやかでたくましく、目標に向かって努力できる生徒を育成します。</p> <p>心身ともに健康で、高い志や豊かな心を持ち、自他ともに大切にできる生徒を育成します。</p> <p>グローバルな視野を持ち、将来、地域社会で活躍できる能力と態度を備えた生徒を育成します。</p>	<p>普通教科をバランスよく履修することにより、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒の進路及び適性に応じた科目の選択ができるよう教育課程を編成します。</p> <p>多様な進路希望に対応できるよう、文系・理系コース、また特進コースを設置します。</p> <p>日常を大切にし、「時を守り、場を清め、礼を正す。(時間、清掃・規律・ルール、挨拶・聴く態度・規則正しい生活)」等、凡事徹底を図り自己管理能力の育成を図ります。</p> <p>国際理解教育、D X教育、地域連携・協働活動などを取り入れた総合的な探究の時間(キャリア教育)を通して、5つのキタニシカ(見つける力、考える力、つながる力、伝える力、よりよくなる力)の育成を図る教育課程を編成します。</p> <p>保護者や地域、大学や企業等との連携・協働活動を通して、学校の活性化を図り、部活動、生徒会活動、地域貢献活動、防災・安全教育等を充実させる教育課程を編成します。</p>	<p>積極的に地域に関わり、地域社会の未来を担うことのできる生徒。</p> <p>思いやりの心を持ち、人のために行動できる生徒。</p> <p>明確な目標を持ち、その達成に向けて努力を続けようとする生徒。</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自ら課題を見つけ解決できる確かで幅広い学力を育成する。
- イ 日常を大切にし、「時を守り、場を清め、礼を正す。(時間、清掃・規律・ルール、挨拶・聴く態度・規則正しい生活)」等、凡事徹底を図り自己管理能力を高める。
- ウ 深い自己理解のもと、SDGsの理念を組み入れながら、探究的なキャリア教育を推進し、進路実現を可能にする力を育成する。
- エ 国際理解教育を推進し、留学生の受け入れや海外との交流を通して、グローバルな視野と多様性を受け入れる豊かな人間性・多様性を受け入れる心を育成する。
- オ 保護者や地域、大学や企業等との連携・協働活動を通して、学校の活性化を図り、部活動、生徒会活動、委員会活動、地域貢献活動、防災・安全教育等を充実させる。また、広報活動の充実にも努める。
- カ 業務改善を推進し、年間計画の適正化、部活動の計画的実施、情報の一元化、業務の効率化を図る。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒 85%以上 「授業に満足している」と答える生徒 80%以上 「毎日家庭学習に取り組んでいる」と答える生徒 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業に意欲的に取り組んでいる」89.2%、「授業に満足している」82.4%、「毎日家庭学習を行っている」43.0%であった。 家庭学習は昨年より4.6%低下した。学習時間が少なく、継続的な学びの習慣が身につけていない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する成果目標は達成した。令和7年度以降も、より良い授業を目指し、研修を企画・実施する。 課題は、学びの習慣の定着である。週末課題や小テストなど、学習をしなければならない状況を作り出すような仕掛けや工夫が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> 「進路実現のための努力をしている」と答える生徒 80%以上 新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等） 進路課外等の計画的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「進路実現のための努力をしている」と答えた生徒は 78.1% 様々な場面で教科指導や面接・小論文指導等の支援を行った。 各学年で生徒の実態にあった課外を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校推薦型選抜を受験する生徒が多いため、面接・小論文指導を全教員で手厚く行っているが、一般選抜に向けた教科の学力を向上させる必要がある。 総合型選抜で不合格となる生徒が多いため、令和7年度は総合型選抜対策にも力を入れていく。
		<ul style="list-style-type: none"> 月末読書量統計をとり、読書の推進を図る。 年間7冊(11月末6冊)以上の生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生を対象に読書週間を設け、図書館に足を運ぶよう働きかけた。 書籍購入に図書委員の生徒が関わるようにした。 6冊以上読書をした生徒は 72% (11月末) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間中は図書館に足を運ぶ生徒が増えた。 書籍購入に生徒が関わることで図書が充実した。 令和7年度は読書調査の方法を見直し、正確な読書量の把握に努める。
		<ul style="list-style-type: none"> （観点別評価）学校として、教科としての統一を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科主任者会を通して毎学期統一理解を図ることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価については、問題なく実施できた。
	教員の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ授業一人年間1回以上、授業見学（他教科も含め）2回以上 Find アクティブラーナー視聴回数増加、研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ授業の実施は全員1回以上できたが、見学2回以上は達成できなかった。 予備校等の教科指導力向上セミナーに4名参加。 ICTを授業で活用する教員が増えた。授業はもちろん、授業以外でも生徒端末の利用が増加した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTや対話的・思考的な授業に挑戦する教員が多くみられた一方で、授業見学は徹底できず、方法を工夫する必要がある。 令和7年度は生徒端末が全学年揃うので、研修テーマをICT活用とする予定である。

イ	「時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年初期・中期指導 6 時間以上 ・学年集会の開催年間 8 回以上、集会時の遅刻 0% ・時間を管理し、4 点固定の中の家庭学習の開始時間を守ることができたと答える生徒 80% 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年におけるタイミングを見ての集会や全校集会の実施など効果的な指導ができた。 ・家庭学習の開始時間を守ることができたと答えた生徒は全体で 56.6%であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の初期指導はしっかりとしたが、徐々に朝の登校時間が遅くなり、時間に余裕を持った行動ができていない。タイムマネジメントを意識させる指導を行っていききたい。 ・全生徒の半数以上が手帳を活用し、家庭学習の開始時間を守ることができたが、約半数は守れていない。時間管理の大切さを認識させる働きかけが必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・整備委員会の活動年間 5 回以上 ・清掃用具点検転換 3 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 5 回以上実施した。大掃除、エアコンフィルタの掃除、文化祭のゴミ出し管理等の業務を委員が主体的に行った。 ・掃除用具の点検を年間 3 回以上実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・整備委員の生徒を中心に、校内美化のための業務分担や説明・指示がスムーズに行えた。令和 7 年度は、ICT を活用した機能的・効率的な取組に挑戦したい。 ・今後もこまめに用具点検を行うほか、清掃ロッカーの掲示物を分かりやすくし、環境を整えたい。また、職員・来賓用トイレが新しくなるため、新たな掃除用具の購入や、掃除方法を検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「自らすすんで挨拶ができる」「交通ルール・マナーを守る」と答える生徒 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自らすすんで挨拶ができる」93.8%、「交通ルール・マナーを守っている」98.6%であった。 ・交通事故件数 18 件（11 月末）学校周辺危険箇所の調査を、浜松市「いっちょお！」を活用し実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度同様、アンケートの結果は良いが、社会的な目線で考えればまだまだ改善余地がある。 ・交通ルール・マナーは、命にかかわるため、継続的に指導を行っていく。

ウ	体系的なキャリア教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「進路指導を含めたキャリア教育（総合的な探究の時間）が充実している」と答える生徒90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「進路指導を含めたキャリア教育が充実している」と答えた生徒84.2%。 模試分析は各学年2回以上、進路だよりは3学年合計30号以上発行した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 探究課の計画的な指導もあり充実と回答する割合が高かったが、進路行事が少なく、令和7年度は系統的な計画を立てる必要がある。また、探究活動やボランティア、資格取得などが総合型選抜につながるような指導も必要である。 模試が基礎学力の定着につながるよう、教務課と連携したい。 探究と進路をつなげるために、入試の情報収集や総合型選抜試験に向けての指導方法など、進路課との連携が必須である。 令和6年度から探究をゼミ形式にした。各グループの進捗状況の把握がしやすくなり、生徒支援が充実した。ゼミ形式のメリット（指導教員の専門性）を生かしていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 卒業前アンケートで「決定した進路先に満足している」と答える生徒90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 進路内定生徒に対して12月に実施したアンケートで、「決定した進路先に満足している」と答えた生徒は85%であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 就職は、ほとんどの生徒が1回目で合格。進学も総合型選抜、学校推薦型選抜で合格し、第1希望の進路を実現できた生徒が多い。
エ	国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 相互のプレゼンテーションを3回以上実施する。 浜北国際交流協会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> タイやフィリピンの留学生らが全クラスの授業に入り、授業で相互プレゼンを行った。 浜北国際交流協会の協力でタイ国との交流や国際理解教育を進められた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 留学生のホストファミリー探しが困難である。 本校生徒が留学生に英語で話しかける光景がよく見られ、国際交流意識が醸成された。
		<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの交流3回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> タイ国シリントン学校の生徒11名・教員2名が来校し、対面交流を実施。 「アジアの架け橋」によるフィリピンの留学生1名が4カ月間滞在した。 シリントン学校（1回）・国立鳳山高級商工職業学校（2回）の計3回のオンライン交流を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度も、留学生を積極的に受け入れるとともに、オンライン交流を継続する。 本校の基本プログラムを構築し、担当者が変わっても長く継続できるよう体制を整備したい。 令和7年8月に、本校生徒約10名がタイへ訪問する予定である。

オ 大学や企業・地域・保護者等との連携や協働活動、貢献活動、広報活動(探究の時間を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・県大会出場 10 部活以上 ・1部活1地域交流活動(地域貢献活動・協働・連携等)の実施 ・校内への普及体制(窓口)の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・予選を突破しての県大会出場は 11 部活で達成した。(12/10 現在) ・1部活1地域交流活動は中学生との交流も含めると 17 部活で実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・26部活があるが、多くの部活動が活発で充実した活動を行った。 ・中学生や外部団体と交流し、地域に目を向けた実施ができた。今後は実施報告も含めて広報活動に繋げたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の開催年 5 回以上 ・生徒による具体的活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会でそれぞれ活動を実施できた。 ・文化祭や体育大会は、一般公開し、外部へ活動を発表することができた。球技大会など生徒主体の行事も成功させることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会で積極的に活動することができた。 ・学校行事はコロナ前に戻せるように、また新たな形も取り入れながら実施することができた。 ・生徒が主体で活動する場面を意識的に組み込み、活発化させていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携した防災教育の機会 2 回以上、地域防災リーダー育成と防災訓練の見直し ・保護者・地域の方の来校が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の確認や HUG 体験により、防災意識を高めることができた。 ・行事への保護者の参加が増加した。文化祭の炊き出しは、PTA 役員が中心となって生徒や来場者に還元することができた。 ・「PTA 活動が活発に行われている」と答える保護者が 85% 以上あった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の避難訓練の内容を事前に考えておく必要がある。 ・起こり得る被災を想定して、より実践的な訓練になるよう工夫していきたい。 ・体育大会では保護者の来校が増えてにぎやかになったが、観覧場所が少なく狭く、課題となった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携したキャリア教育の機会 3 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、県西部地域局危機管理課職員による HUG (避難所運営ゲーム) 体験を 3 月に実施する。 ・1年生は地元の企業見学、2年生は大学見学を実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に働いている場面や大学の模擬授業などを通し、具体的に進路を考えるきっかけとなった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携又は協働した安全教育の機会 1 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止講座(全校)、思春期講座(1年)、熱中症予防講座(運動部)を企画し、外部講師を招いて安全教育を実施した。 ・総探の時間にがん経験者の方を招き、「がん教育」を一部生徒に実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・どの講座も、事後アンケートから多くのことを学ぶ良い機会となったことが確認できた。今後も実態にあった講座を企画していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・探究検討委員会を毎月開催 ・3年生の進路を意識した探究活動の構築 ・3年間の流れを検討・修正していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月探究検討委員会を実施できなかったが、学年担当との活動状況の把握や共有など含め、小規模の会議を実施できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に会議日を設定しないと、毎月実施は困難である。令和7年度に生かす。 ・進路を意識した活動、3年間の流れを、分掌を超えて検討していく。

		<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新週3回以上、学校便り(あらたまただより)等の作成やSNSの利用で広報活動を充実させる。 ・中学生向け学校紹介動画をリニューアルする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新は、週3回以上実施できた。HPを11月にリニューアルした。学校公式Instagramを5月に開設し、フォロワー数が1,000を超えた。 ・「あらたまただより」を年2回発行した。 ・学校紹介動画を生徒会が作成し、好評を博した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の新HP移行後、更新数が減少したので、各部活で北西ブログをアップできるように、引き続き個別研修を行う。 ・「あらたまただより」のペーパーレス化についても令和7年度は検討したい。
力	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌、運営委員会等で意見の集約を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌、教科等に年間計画を配布し、見直しをお願いした。 ・業務改善に関する教職員アンケートを実施し、令和7年度に向けた改善案を作成・提案している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署から提出された年間計画を集約し、バランスをとりながら令和7年度年間計画を作成できた。 ・現状に甘んじることなく、全職員で協力し、知恵を出し合い改善していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動計画表の作成(年間及び月間)提出 ・各部活動、年間80日以上 of 休養日の設定を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部活動が適切な休養日を設け、計画的な活動を実施できた。 ・一方、作成した練習計画が生徒から保護者に届いていない状況もあった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的で活発な活動が実施できている。 ・練習計画を早期に作成・提示することを継続するとともに、保護者が閲覧できる環境を全部活動で整えていく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校メールやGoogleカレンダーを積極的に活用し、校務のDXを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GoogleチャットやGoogleカレンダー、Googleスプレッドシートの活用を全職員で行い、情報共有・時短に役立てた。 ・絆ネットによる欠席連絡の方法を見直し、業務軽減できた。 ・新採点システム(百問繚乱)の県立高校一斉導入により、採点業務が大幅に削減した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は県教委の意向により、Google系のツールと新採点システムの導入・活用が一気に進んだ。教職員により活用状況にはまだ差があるため、令和7年度は校内研修テーマを「ICT活用」とし、校務だけでなく授業においてもDXを推進していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な業務計画の推進 ・学校経営予算運用の効率化 ・業務分担の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各主任を中心に、計画的な業務遂行ができている。 ・令和6年度は年度途中で予算が決定する特別事業(DXハイスクール、行きたい学校づくり、グローバルハイスクール)があり、調整に労力を要したが、有効に活用できた。 ・当初予算は計画的に執行することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別事業による予算があることで、教育活動が充実しており、大変有難い。 ・令和7年度も特別事業は継続するため、計画的かつ有効に活用したい。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな学習指導やアクティブラーニング型の授業を展開する。 ・ICT活用授業を実施する。 ・「反転学習」などの考えを取り入れ、復習にこだわらず予習にも取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒85%以上 ・「授業に満足している」と答える生徒80%以上 ・「授業以外で自主的に学習に取り組んでいる」と答える生徒70%以上（塾や放課後の補習等も含む） ・授業でICTを活用した職員の割合80%以上 	教務課 進路課 図書・情報課 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路実現のための努力をしている」と答える生徒80%以上 ・新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等） ・進路課外授業等の計画的実施 ・スタディサプリを活用した特進クラスの個別最適学習指導の検証 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月末読書量統計調査の実施 ・1、2年生を対象とした読書強化週間の実施 ・年間7冊(11月末6冊)以上の生徒80%以上 	図書・情報課
		<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価を適正に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科主任会議年間3回の実施 ・他教科の評価方法等の情報共有による適正な観点別評価実施に向けた改善推進 	教務課
	教員の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を推進する。 ・研修・授業研究の充実を図る。 ・生徒一人一台PC活用の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ授業一人年間1回以上、他教科も含む授業見学2回以上の実施 ・ロイロノート等を使った「効果的なICT活用による授業改善」研修の実施 	教務課 研修班管 理職 図書・情報課
イ	「時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・初期指導を徹底し、時間を守る意識、タイムマネジメント力を身に付ける。 ・提出物の期限を徹底する。 ・手帳やマナビジョン等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年初期・中期指導6時間以上 ・「8:25朝読書開始ができています」と答える生徒80% ・学年集会の開催年間8回以上、集会時の遅刻0% ・時間を管理し、4点固定の中の家庭学習の開始時間を守ることができたと答える生徒80%以上 	各学年 教務課 生徒課 進路課

		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「清掃時に自分の役割を果たし、校内美化に努めた」と答える生徒 80%以上 ・「家庭ごみの持ち帰り、ごみの分別等のルールを守ることができた」と答える生徒 80%以上 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を励行する。 ・生活指導を充実させ、交通ルール遵守の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自ら進んで挨拶ができる」「交通ルール・マナーを守る」と答える生徒 90%以上 ・交通事故件数 20 件未満 ・学校周辺および通学路の危険個所の調査・確認・周知 	生徒課 全職員
ウ	体系的なキャリア教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導を含めたキャリア教育（総合的な探究の時間）が充実している」と答える生徒 90%以上 	教務課 各学年 進路課探 究班
		<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションアップのための進路行事の充実を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒が希望する進路を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業前アンケートで「決定した進路先に満足している」と答える生徒 90%以上 	3 年部 進路課
エ	国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生との交流を活性化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ交流会を 3 回以上実施 ・浜北国際交流協会との連携 	教務課研 修班 英語科
		<ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国シリントン学校との交流を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回タイ研修を実施 	
オ	大学や企業・地域・保護者等との連携や協働活動、貢献活動、広報活動（探究の時間を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活性化を図る。 ・生徒が他者・外部と関わり合うことを大切にするための情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県大会出場 10 部活以上 ・1 部活 1 地域交流活動（地域貢献活動・協働・連携等）の周知と実施 ・校内への普及体制（窓口）の確立 	生徒課 各部活顧問
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や委員会活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の開催年 5 回以上 	生徒課 各委員会担当
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育・安全教育・キャリア教育の充実を図る。 ・開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等と連携した防災教育の機会 2 回以上 ・地域防災リーダー育成と防災訓練の見直し ・家庭や地域との連携による、保護者等の学校行事への理解や参画 	総務課
			<ul style="list-style-type: none"> ・連携したキャリア教育の機会 3 回以上 	進路課
<ul style="list-style-type: none"> ・連携又は協働した安全教育の機会 1 回以上 ・S C（スクールカウンセラー）による相談を年 20 回以上 	保健課			

		<ul style="list-style-type: none"> ・「探究的な」キャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の進路を意識した探究活動の構築 ・「行きたい学校づくり」事業を通じた探究活動の3年間の流れの検証・見直し ・学校運営協議会委員や地域の方の参画による探究活動やCS（コミュニティ・スクール）の充実 	進路課 探究班 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・発信力を高める工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員対象HP作成研修の実施 ・行事担当や部活動顧問によるHP更新を週2回以上（長期休業中は除く） ・Instagramのフォロワー数2,500人超（令和7年3月末現在1,470人） 	図書・備録 全職員 総務課 管理職
カ	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画における行事等の配置を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌、運営委員会等で意見の集約を図り、改善案を提示 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に係る活動方針に基づき、部活動ファイルを有効に活用し、計画的に部活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動計画表の作成（年間及び月間）提出 ・各部活動、年間80日以上の子休養日の設定を努力義務化 	生徒課 各部活顧問
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務DXを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Workspace 機能の利用促進 ・アンケートの完全ペーパーレス化（QRコードの廃止）80%以上 ・配布物のペーパーレス化に取り組んだ職員の割合80%以上 	図書・備録 全職員 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務運用を図り、働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担の明確化・平準化（業務負担の偏りをできるだけなくす） ・業務マニュアル（要項、引継書）の作成・改善ができたと答える職員80%以上 ・校務フォルダの整理の徹底 	全職員 管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	「確かな学力」の育成と教員の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブラーニング」とICT活用を取り入れたチャレンジ授業として各教員年1回の研究授業と2回の授業見学を行った。
	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は7月に企業見学を実施。また、「地域を知る」をテーマに、地域の企業の活動と大学・専門学校の学びとのつながりを考える機会を作り、自分の適性や社会の仕組みを理解した上で、将来の進路について考えた。 ・2年生は7月に大学見学を実施。また、夏休みにオープンキャンパスへ参加することを推奨することにより、進路についての学習を行った。 ・全校生徒、保護者の希望者に、「夢ナビONLINEライブ」へ参加することを推奨することで、最先端の大学教育や学問への関心を高めるための有効な時間とした。 ・キャリアサポートセンターを活用し、就職指導や面接指導を実施した。 ・常葉大学との効果的な連携についての研究を継続して行い、大学や地域との活動の中で生徒の探究的な学習の在り方について研修を行った。10月に「総合的な探究の時間」において2年生が常葉大学に行き、大学生に対して発表及び意見交換を行った。
	国際理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・6月には、タイ王国シリントン学校から留学生11名、教員2名を受け入れた。 ・9月～12月の約3カ月間、AFS（フィリピン）の留学生を受け入れた。 ・1年生を対象にした夏休みの「国際交流レポート」の最優秀賞・優秀賞・佳作を選出し、浜北国際交流協会会長より表彰をいただいた。 ・台湾のFongshan Vocational High School（鳳山商工）とオンライン交流会を実施した。
	規範意識、マナーの向上と基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に対する初期指導を校内で実施し、構成的グループエンカウンター等を行った。 ・学年の生徒指導課を中心に全教員で頭髪服装指導を行うとともに、生徒指導課と学年主任で毎日遅刻指導を行った。 ・「ネット依存対策プログラム」を外部法人の指導の下、年間を通して実施した。
	部活動やボランティア活動を通じた人格の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・1部活動1ボランティア(1交流)を目標に、多くの部活動で積極的にボランティアや外部との交流活動を行った。
	教育相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による面談やスクールカウンセラーによる教育相談を実施した。

令和7年度	「確かな学力」の育成と教員の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ授業として、各教員年1回の研究授業と2回以上の授業見学を実施した。 ・今年度の職員研修テーマを「効果的なICT活用による授業改善」とし、ロイロノートの授業への活用を進めた。
	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は7月に企業見学を実施。また、「地域を知る」をテーマに、地域の企業の活動と大学・専門学校学びとのつながりを考える機会を作り、自分の適性や社会の仕組みを理解した上で、将来の進路について考える。 ・2年生は7月に大学見学を実施。また、夏休みにオープンキャンパスへ参加することを推奨することにより、進路についての学習を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒、保護者の希望者に、「夢ナビONLINEライブ」へ参加することを推奨することで、最先端の大学教育や学問への関心を高めるための有効な時間とする。 ・キャリアサポートセンターを活用し、就職指導や面接指導を実施する。 ・常葉大学との効果的な連携についての研究を継続して行い、大学や地域との活動の中で生徒の探究的な学習の在り方について研修を行う。10月に「総合的な探究の時間」において2年生が常葉大学に行き、大学生に対して発表及び意見交換を行う。
	国際理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国シリントン学校との交流を2005年から続けている。タイ王国へ代表生徒10名、教員2名の派遣を8月に予定していたが、国際情勢のため、12月に延期して実施した(予定)。 ・4月～7月に2名(アメリカ合衆国、アイスランド)、9月～12月に1名(インドネシア)の留学生を受け入れた。 ・1年生を対象にした夏休みの「国際交流レポート」の最優秀賞・優秀賞・佳作を選出し、浜北国際交流協会会長より表彰をしていただく。 ・台湾のFongshan Vocational High School(鳳山商工)とオンライン交流会を実施した。
	規範意識、マナーの向上と基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に対する初期指導を校内で実施し、構成的グループエンカウンター等を行った。 ・学年の生徒指導課を中心に全教員で頭髪服装指導を行うとともに、生徒指導課と学年主任で毎日遅刻指導を行っている。 ・「ネット依存対策プログラム」を外部法人の指導の下、年間を通して実施している。
	部活動やボランティア活動を通じた人格の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・1部活動1ボランティア(1交流)を目標に、多くの部活動で積極的にボランティアや外部との交流活動を行っている。
教育相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による面談やスクールカウンセラーによる教育相談を実施する。 	

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	本務職員							臨時・会計年度任用職員					合計		
	教育職員					行政職員		本務計	臨時的任用職員	任期付短時間勤務職員	非常勤講師	非常勤労務職員		非常勤嘱託員	臨時計
	校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主査	小計								
転出者	1	1	2		4	1	1	5						0	5
退職者			1		1		0	1	2	1	8	2		13	14
再任用 (転出・退職)			6	1	7		0	7						0	7
転入者			1		1	1	1	2						0	2
新任者	1	1	1		3		0	3	2		7	2	1	12	15
再任用 (新任・転入)			7	1	8		0	8						0	8
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1

(2) 現員数

(令和7年9月30日現在)

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員						合計			
	教育職員						行政職員				本務計	臨時的任用職員	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	外国語指導講師		学校医等	臨時計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任										小計
男	1		1	26		1	29		1		1	30		7	2			5	14	44
女		1		22	1		24	1	2	1	4	28	2			1	1	1	5	33
計	1	1	1	48	1	1	53	1	3	1	5	58	2	7	2	1	1	6	19	77

再任用 教諭・養護教諭：週38時間45分 2人、19時間25分 5人、19時間10分 1人

(3) 健康管理について

令和6年度			令和7年度		
回	月	議 題	回	月	議 題
1	4	活動計画検討、職場環境について 健康管理医による情報提供、職場巡視	1	4	活動計画検討、職場環境について 健康管理医による情報提供、職場巡視
2	5	職員健康診断、ムカデ駆除について 健康管理医による職場巡視の報告	2	5	職員健康診断について 健康管理医による職場巡視の報告
3	6	職員健診について 休養室の網戸設置について	3	6	職員健診について(受診日、問診票、要 精密検査・要再検査等)
4	7	職員健康づくり講座の内容検討 健康管理医による職場巡視及び報告	4	7	職員健康づくり講座の内容検討 健康管理医による職場巡視及び報告
5	8	新設トイレの内装等について 職員室冷蔵庫や教材室の整理について	5	8	職員健康づくり講座について 麻しん(はしか)について
6	9	職員健康づくり講座について 健康管理医による職場巡視及び報告	6	9	職員休養室のカーテン取替について 健康管理医による職場巡視及び報告
7	10	職員健康づくり講座の実施 職員トイレについて	7	10	職員健康づくり講座の実施 インフルエンザ予防接種助成について
8	11	職員健康診断の事後措置状況について 健康管理医による職場巡視及び報告	8	11	職員健康診断の事後措置状況について 健康管理医による職場巡視及び報告
9	12	職員健康づくり支援事業について 加湿器の設置	9	12	加湿器の設置
10	1	令和7年度職員健康診断申込について 健康管理医による職場巡視及び報告	10	1	令和8年度職員健康診断申込について 健康管理医による職場巡視及び報告
11	2	令和6年度職員健康診断結果報告 健康管理医による情報提供、職場巡視	11	2	令和7年度職員健康診断結果報告 健康管理医による情報提供、職場巡視
12	3	健康管理医による職場巡視の報告 令和6年度の反省と令和7年度の計画	12	3	健康管理医による職場巡視の報告 令和7年度の反省と令和8年度の計画

(4) 教職員の研修について

令和6年度

区分	研修の目的	研修内容 (参加者・教科等)	成果と課題
県教育委員会等	「新しい高等学校教員の年次別研修」の開始により、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新による社会の急激な変化に対応できる、実践的指導力の向上を図る。	初任者研修(教諭1人(情報科))、2年次研修(教諭2人(国語・保健体育科))、3年次研修(教諭1人(地歴公民科))、6年次研修(教諭2人(理科・体育科))、中堅教諭等資質向上研修期(教諭1人(数学科))	研修計画に従って、校内研修・校外研修などに意欲的に取り組み、指導力の向上に努めている。教育公務員としての自覚と、教員としての教養を高め、向上心をもって取り組んでいる。
	各教科の実践的指導力の向上を図る。	高等学校支援課定期訪問	9月18日の定期訪問において、地歴公民科1人、英語科2人の教員の研究授業を実施した。また、全教員を対象とした校内研修において指導を受けた。

校内	「チャレンジ授業を通じた授業力の向上 探究の時間の授業改善」を展開するため教授技術の向上を図る。	研究授業や相互の授業参観、報告会	チャレンジ授業(少なくとも1回)、授業参観(担当教科以外の授業を含め2回)を12月までに全職員が実施した。緊張感を持って授業に取り組み、さらなる授業力向上の機会となった。
		校内研修会の実施	「総合的な探究の時間の充実」をテーマに、校内研修を年2回(5月と9月)行った。全教員で目線合わせを行うことで、全校の探究活動が円滑化した。

令和7年度

区分	研修の目的	研修内容 (参加者・教科等)	成果と課題
県教育委員会等	「新しい高等学校教員の年次別研修」の開始により、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新による社会の急激な変化に対応できる、実践的指導力の向上を図る。	初任者研修(教諭1人(国語科))、2年次研修(教諭1人(情報科))、3年次研修(教諭2人(国語・体育科))、7年次研修(教諭2人(体育・英語科))、中堅教諭等資質向上研修 期(教諭1人(数学科))	研修計画に従って、校内研修・校外研修などに意欲的に取り組み、指導力の向上に努めている。教育公務員としての自覚と、教員としての教養を高め、向上心をもって取り組んでいる。
	各教科の実践的指導力の向上を図る。	高等学校支援課定期訪問	9月17日の定期訪問において、家庭科1人、情報科1人の教員の研究授業を実施した。教科外の教員も多数教科別研修に参加し、授業改善の良い機会となった。
校内	「チャレンジ授業を通じた授業力の向上 探究の時間の授業改善」を展開するため教授技術の向上を図る。	研究授業や相互の授業参観、報告会	チャレンジ授業(少なくとも1回)、授業参観(担当教科以外の授業を含め2回)を12月までに全職員が実施している。ICT等新たな挑戦を行う機会として、また他教員の授業を参観・研修する場として、大変有効である。授業後に互いに感想を述べあうなど、授業の向上につながっている。
		校内研修会の実施	ロイロノートを活用し、「効果的なICT活用による授業改善」をテーマに、校内研修を2回(5月と9月)行った。ICTを取り入れることにより、個人の思考整理や、集団での意見共有、協働学習の切り替えがスムーズに行えるようになり、授業改善が進んだ。

6 防災対策について

令和6年度

指導目標	取組内容	成果と課題
大規模地震等に対する防災能力の向上を図るため実践的な防災訓練を実施する。	校内防災訓練では、地元消防署と連携し防災に対する意識の高揚を図った。	第1回防災訓練では、教室からグラウンドへの避難経路の確認を行った。 第2回防災訓練では、地震による火災発生を想定した避難訓練を実施する予定であったが雨天のため中止した。第3回防災訓練では、各学年でテーマを設定した防災訓練を実施した。(1・2年生)

高校生が地域防災の担い手としての役割を果たせるよう、地域と連携しながら、防災体制の充実を図る。	1・2学期から地域防災訓練について周知を図り、参加率の向上に努めた。	地域防災訓練への参加を呼びかけるとともに、12月の地域防災訓練に参加するよう指導し防災訓練への参加率の向上に努めた。
	旧浜北区の県立学校と区役所、地元自治会の防災担当者による「防災教育推進のための連絡会議」を実施し、高校生が地域防災において果たすべき役割について確認した。	11月27日に浜北西高校で実施した。

防災訓練項目	実施日	実施内容
第1回校内防災訓練	4月11日	避難経路の確認と避難訓練
防災班編成訓練	5月8日	集団下校のための防災班を編成
第2回校内防災訓練	10月8日	地震による火災発生を想定した避難、避難経路の確認(雨天中止)
第3回校内防災訓練	3月17日	各学年での防災訓練(1・2年生)

令和7年度

指導目標	取組内容	成果と課題
大規模地震等に対する防災能力の向上を図るため実践的な防災訓練を実施する。	校内防災訓練では、地元消防署と連携し防災に対する意識の高揚を図った。	第1回防災訓練では、教室からグラウンドへの避難経路の確認を行った。 第2回防災訓練では、地震による火災発生を想定した避難訓練を実施する。授業終了時に地震発生を想定し、体育館避難後HRごとに集合した。 第3回防災訓練では、各学年でテーマを設定した防災訓練を実施する。(1・2年生)
高校生が地域防災の担い手としての役割を果たせるよう、地域と連携しながら、防災体制の充実を図る。	1・2学期から地域防災訓練について周知を図り、参加率の向上に努める。	地域防災訓練への参加を呼びかけるとともに、12月の地域防災訓練に参加するよう指導し防災訓練への参加率の向上に努める。
	旧浜北区の県立学校と区役所、地元自治会の防災担当者による「防災教育推進のための連絡会議」を実施し、高校生が地域防災において果たすべき役割について確認する。	12月9日に浜北特別支援学校で実施を予定している。

防災訓練項目	実施日	実施内容
第1回校内防災訓練	4月10日	避難経路の確認と避難訓練
防災班編成訓練	5月7日	集団下校のための防災班を編成
第2回校内防災訓練	10月7日	地震による火災発生を想定した避難、避難経路の確認
第3回校内防災訓練	3月17日	各学年での防災訓練(1・2年生)

7 学校開放について

令和6年度、7年度実績なし

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法（第 1 条、第 2 条、第 3 条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運 営に関する こと	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3 条、第 4 条） 静岡県立学校処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 静岡県高等学校等奨学給付金交付要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条） 社会教育法（第 43 条、第 45 条、第 47 条）

学校施設の概要

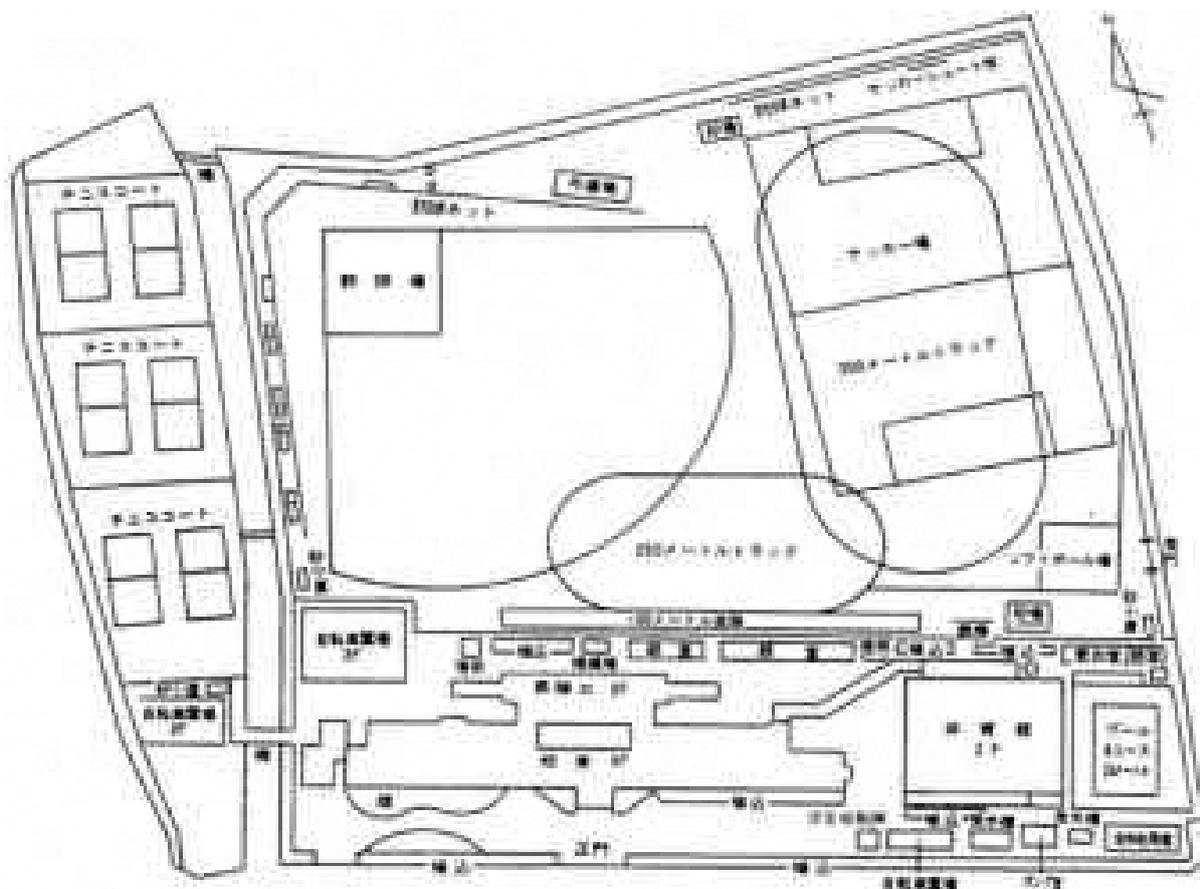
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市 町 村 有 m ²	後 援 会 有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	48,567.41	48,567.41					
内 訳	校 舎 敷 地	11,398.67	11,398.67				
	運 動 場 敷 地	35,113.81	35,113.81				
	そ の 他 の 敷 地	2,054.93	2,054.93				
校 舎	建 2,355.81	2,355.81					
	延 7,963.86	7,963.86					
体 育 館	建 2,043.90	1,427.71			616.19		
	延 2,798.66	2,182.47			616.19		
そ の 他 の 建 物	建 1,356.97	1,152.76			204.21		
	延 1,910.80	1,706.59			204.21		
プ ー ル	1 個	1 個					25m 8 コー
職 員 住 宅	2 4 戸	2 4 戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	48,567.41 m ²	7,963.86 m ²	35,113.81 m ²
県 平 均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

(令和 7 年 9 月 30 日 現在)

学年	学科別 区分		全 日 制 普 通 科			
			定員	男子	女子	計
1 年	入 学 者		240	114	131	245
		増 加				
		減 少				
	現 在			114	131	245
2 年	入 学 者		280	141	146	287
		増 加				
		減 少		2	2	4
	2 年 時 当 初			139	144	283
		増 加			1	1
		減 少			2	2
	現 在			139	143	282
3 年	入 学 者		280	145	131	276
		増 加				
		減 少		3	1	4
	2 年 時 当 初			142	130	272
		増 加				
		減 少			3	3
	3 年 時 当 初			142	127	269
		増 加				
減 少						
現 在			142	127	269	
合 計		800	395	401	796	

入学志願者及び入学者数調

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		280	280	280	280	240
募集者数 (B)		280	280	280	280	240
志願者数	男	139 (0)	157 (0)	145 (0)	143 (0)	115 (0)
	女	142 (0)	126 (0)	132 (0)	150 (0)	132 (0)
	計(C)	281 (0)	283 (0)	277 (0)	293 (0)	247 (0)
受検者数	男	139 (0)	157 (0)	145 (0)	143 (0)	114 (0)
	女	142 (0)	124 (0)	132 (0)	149 (0)	132 (0)
	計(D)	281 (0)	281 (0)	277 (0)	292 (0)	246 (0)
合格者数	男	138 (0)	157 (0)	145 (0)	141 (0)	114 (0)
	女	142 (0)	124 (0)	131 (0)	146 (0)	131 (0)
	計(E)	280 (0)	281 (0)	276 (0)	287 (0)	245 (0)
志願倍率 (C) / (B)		1.00	1.01	0.99	1.05	1.03
受検倍率 (D) / (B)		1.00	1.00	0.99	1.04	1.03
入学者数	男	138	157	145	141	114
	女	142	124	131	146	131
	計(F)	280	281	276	287	245
充足率(F) / (A)		1.00	1.00	0.99	1.03	1.02

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別		全 日 制 普 通 科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒業生徒数		283	272	279	
内	(進学志願者)	(253)	(243)	(262)	
	進学者	大学・短大	143	156	170
		専修・各種学校等	100	80	87
		小 計	243	236	257
訳	就 職 者	30	29	15	
	自 営 者	0	0	0	
	進 学 準 備 者	10	6	5	
	そ の 他	0	1	2	
合 計		283	272	279	

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	30	29	17
求 人 数	95	121	98
求人倍率	3.2	4.2	5.8

3 資格取得状況 (令和6年度)

学科別	普通科
卒業生徒数	279
実用英語技能検定 2級	3
実用英語技能検定 準2級	6
日本漢字能力検定 2級	2
硬筆書写技能検定 2級	2
硬筆書写技能検定 3級	5
家庭科保育技術検定 4級	14
静岡県青少年指導者初級	12
合計	44

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市 町 名	浜松市	磐田市	その他	合計
生徒数	787	8	1	796
構成比%	98.9%	1.0%	0.1%	100%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	徒歩	自転車	バス	その他	合計
生徒数	6	779	1	10	796
構成比%	0.8%	97.9%	0.1%	1.2%	100%

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	13		25
男子	1年	91	23	0	114
	2年	91	48	0	139
	3年	103	39	0	142
	計(A)	285	110	0	395
	構成比	72.2%	27.8%	0%	100%
女子	1年	47	84	0	131
	2年	62	81	0	143
	3年	50	77	0	127
	計(B)	159	242	0	401
	構成比	39.8%	60.2%	0%	100%
合計	(A+B)	444	352	0	796
	構成比	55.8%	44.2%	0%	100%

(全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況			異動者等の状況	
		1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後収納額	収入未済額		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額					
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 4,187,700円 (141人 × 9,900円 × 3月) B. 収納権利増減()額 = 19,800円 内訳 4月18日: 3年: 認定 1 1 × 9,900円 × 2月 = 19,800円 C. 収納必要額 A ± B = 4,167,900円
	5													
	6													
	7	45	1,336,500	40	1,188,000	55	1,633,500	141	4,167,900	4,078,800	97.9		89,100	
	8					1	9,900		0			89,100	0	
	計	45	1,336,500	40	1,188,000	56	1,643,400	141	4,167,900	4,078,800	97.9	89,100	0	
二期	7													A. 期首収納権利発生額 = 7,920,000円 (160人 × 9,900円 × 5月) B. 収納権利増減()額 = 19,800円 内訳 9月26日: 1年: 認定 1 1 × 9,900円 × 2月 = 19,800円 C. 収納必要額 A ± B = 7,900,200円
	8													
	9													
	10	59	2,920,500	44	2,178,000	57	2,821,500	160	7,920,000	7,771,500	98.1		148,500	
	11	1	19,800					1	19,800	19,800		148,500	0	
	計	58	2,900,700	44	2,178,000	57	2,821,500	159	7,900,200	7,751,700	98.1	148,500	0	
三期	12													A. 期首収納権利発生額 = 6,296,400円 (159人 × 9,900円 × 4月) B. 収納権利増減()額 = 0円 C. 収納必要額 A ± B = 6,296,400円
	1	58	2,296,800	44	1,742,400	57	2,257,200	159	6,296,400	6,217,200	98.7		79,200	
	2											79,200	0	
	3													
	計	58	2,296,800	44	1,742,400	57	2,257,200	159	6,296,400	6,217,200	98.7	79,200	0	
合計		161	6,534,000	128	5,108,400	170	6,722,100	459	18,364,500	18,047,700	98.3	316,800	0	D. 収納必要額 = 18,364,500円

令和7年度中収納なし

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	248	0

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	概 要
静岡銀行 小松支店	無利息型 普通預金	0060320	静岡県立浜北西高等学校 資金前渡者 校長 野澤 博文	0	給与、賞与、 年末調整還付金
静岡銀行 小松支店	無利息型 普通預金	0329119	(自振口)静岡県立浜北西高等学校 資金前渡者 校長 野澤 博文	0	水道料、電話料、 後納郵便料金、社会保険料
残高合計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	10円券	46	460	100	1,000	104	1,040	42	420	0	0	20	200	22	220	文書発送用
郵券	26円券	0	0	7	182	7	182	0	0	0	0	0	0	0	0	文書発送用
郵券	84円券	49	4,116	0	0	49	4,116	0	0	0	0	0	0	0	0	文書発送用
郵券	100円券	41	4,100	60	6,000	64	6,400	37	3,700	0	0	21	2,100	16	1,600	文書発送用
郵券	140円券	0	0	20	2,800	11	1,540	9	1,260	0	0	9	1,260	0	0	文書発送用
計			8,676		9,982		13,278		5,380		0		3,560		1,820	

材 料 品 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						摘要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
CPU (Corei5)							0	0	2	66,000	2	66,000	0	0	パソコン製作用
CPUクーラー							0	0	2	14,960	2	14,960	0	0	パソコン製作用
マザーボード							0	0	2	30,800	2	30,800	0	0	パソコン製作用
SSD							0	0	2	25,300	2	25,300	0	0	パソコン製作用
メモリ (16GB2枚組)							0	0	2	30,800	2	30,800	0	0	パソコン製作用
PCケース							0	0	2	14,740	2	14,740	0	0	パソコン製作用
電源							0	0	2	17,600	2	17,600	0	0	パソコン製作用
CPUクーラー							0	0	3	22,440	3	22,440	0	0	パソコン製作用
マザーボード							0	0	3	69,300	3	69,300	0	0	パソコン製作用
CPU(Corei7)							0	0	3	184,800	3	184,800	0	0	パソコン製作用
GPU (8G0C)							0	0	3	184,800	3	184,800	0	0	パソコン製作用
SSD							0	0	3	34,650	3	34,650	0	0	パソコン製作用
メモリ (16GB2枚組)							0	0	3	46,200	3	46,200	0	0	パソコン製作用
PCケース							0	0	3	29,040	3	29,040	0	0	パソコン製作用
電源							0	0	3	49,500	3	49,500	0	0	パソコン製作用
計							0	0	38	820,930	38	820,930	0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		4,738,800	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		504,900	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		327,800	
計					3,223,000	5,571,500	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,166,000	
計					1,334,300	1,166,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		870,650	
	一般会計	教育費	高等学校費	高校教育費		2,179,408	
計					462,000	3,050,058	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		81,013,800	
計					82,075,300	81,013,800	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	88,000	0
計					88,000	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	173,800	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					173,800	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	19,199,200	0
計					19,199,200	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当設金	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 普通教室ガスヒートポンプ点検業務委託	日管(株)	円 396,000	円 396,000	円 0	円 396,000	随契	6.6.24 7.3.31	6.12.26	円 396,000	ガスヒートポンプ点検 ガスヒートポンプ6台 室内機48台	随契1号 (少額)
2	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)環吉	運搬料 8,800 処分料 39,600	運搬料 8,800 処分料 39,600	0	運搬料 8,800 処分料 39,600	随契	6.10.21 7.3.31	7.3.18	48,400	産廃収集運搬処分 3m ³ コンテナ設置	随契1号 (少額)
3	PCB含有調査業務委託	富士通クオリティ・ラボ・環境センター(株)	60,500	60,500	0	60,500	随契	6.11.1 7.2.28	7.1.9	60,500	PCB含有調査 コンデンサ2台	随契1号 (少額)
4	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)環吉	330,000	運搬料 184,800 処分料 143,000	0	運搬料 184,800 処分料 143,000	随契	6.11.1 7.3.31	7.2.14	327,800	産廃収集運搬処分 14m ³ 語学演習機	随契1号 (少額)
5	建築基準法第12条定期点検業務委託	(有)山口一級建築士事務所	4,453,900	2,200,000	0	2,200,000	一般	6.11.22 7.3.24	7.3.21	2,200,000	定期点検 (年1回)	浜松東高校 浜松工業高校 浜松城北工業高校 浜名高校 浜松湖北高校 浜松視覚特支 浜松聴覚特支 浜松特支 浜松特支城北分校 西脇特支 浜松みをつくし特支
6	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)環吉	63,800	運搬料 11,000 処分料 52,800	0	運搬料 11,000 処分料 52,800	随契	6.12.2 7.3.31	7.3.18	63,800	産廃収集運搬処分 4m ³ コンテナ設置	随契1号 (少額)
	事務関係計	6件	5,352,600	3,096,500	0	3,096,500				3,096,500		
1	(工事関係) 教職員住宅A,B棟用地測量業務委託	不二総合コンサルタント(株)	2,607,000	2,475,000	0	2,475,000	一般	6.9.10 7.3.14	7.4.9	2,475,000	教職員住宅境界測量 2,300m ² 協議書作成	
	工事関係計	1件	2,607,000	2,475,000	0	2,475,000				2,475,000		
	合計	7件	7,959,600	5,571,500	0	5,571,500				5,571,500		

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当設金	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト(株)		4,755,960	356,741	5,112,701		6.4.1 ~ 7.3.31			電気工作物保守点検(1月1回)年次点検1回	浜松城北工業高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		18,810,000	16,500	18,793,500		6.4.1 ~ 7.3.31			消防用設備保守点検(年2回)	浜松湖北高校
参考3	汚水処理施設・浄化槽保守点検業務委託	管理事業(有)		3,524,400	0	3,524,400		6.4.1 ~ 7.3.31			浄化槽保守管理(週1回)	新居高校
参考4	可燃物収集運搬処分業務委託	(有)大野商会		運搬料 3,410円/回 処分料 14.3円/kg	0	運搬料 3,410円/回 処分料 14.3円/kg		6.4.1 ~ 7.3.31			可燃物収集運搬(4~7月、9~3月:毎日8月:月水金)	単価契約 浜北特支
参考5	プール浄化装置保守点検業務委託	清化工業(株)		998,800	17,050	981,750		6.4.8 ~ 6.12.27			プール浄化装置保守点検(年2回)	浜松東高校
参考6	警備業務委託	セコム(株)		10,164,000	0	10,164,000		元.10.1 ~ 6.9.30			警備業務(毎日)	元長期 浜松工業高校
参考7	警備業務委託	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000		6.10.1 ~ 11.9.30			警備業務(毎日)	6長期 浜松工業高校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年9月30日)

整理番号	委託業務名	受託者	当初計額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)大洋サービス	円 運搬料 44,000 処分料 44,000	円 運搬料 44,000 処分料 44,000	円 0	円 運搬料 44,000 処分料 44,000	随契	7.6.2 ~ 7.12.26	7.8.15	円 88,000	理科実験廃液運搬処分 5品目	随契1号 (少額)
2	普通教室ガスヒートポンプ点検業務委託	日管(株)	396,000	396,000	0	396,000	随契	7.6.1 ~ 8.3.31			ガスヒートポンプ点検 ガスヒートポンプ6台 室内機48台	随契1号 (少額)
3	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)環吉	運搬料 8,800 処分料 39,600	運搬料 8,800 処分料 39,600	0	運搬料 8,800 処分料 39,600	随契	7.6.2 ~ 8.3.31			産廃収集運搬処分 3m ³ コンテナ設置	随契1号 (少額)
	合計	3件	532,400	532,400	0	532,400				88,000		
参考1	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト(株)	/	5,212,680	0	5,212,680	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	電気工作物保守点検 (1月1回) 年次点検1回	浜松城北工業高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合	/	19,250,000	0	19,250,000	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	消防用設備保守点検 (年2回)	浜松湖北高校
参考3	汚水処理施設・浄化槽保守点検業務委託	管理事業(有)	/	3,916,770	0	3,916,770	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	浄化槽保守管理 (週1回)	新居高校
参考4	可燃物収集運搬処分業務委託	(有)大野商会	/	運搬料 3,630円/回 処分料 14.3円/kg	0	運搬料 3,630円/回 処分料 14.3円/kg	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	可燃物収集運搬 (4~7月、 9~3月:毎日 8月:月水金)	単価契約 浜北特支
参考5	プール浄化装置保守点検業務委託	清化工業(株)	/	995,500	37,400	958,100	/	7.4.10 ~ 7.12.26	/	/	プール浄化装置保守点検 (年2回)	浜松東高校
参考6	警備業務委託	セコム(株)	/	14,256,000	0	14,256,000	/	6.10.1 ~ 11.9.30	/	/	警備業務 (毎日)	6長期 浜松工業高校
	計	6件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加	円 4,000	6.5.14
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	6.6.28
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加	2,000	6.7.12
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分696名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,671,200	6.7.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	6.7.31
6	全国普通科高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長協会	開催通知	全国普通科高等学校長協会総会・研究協議会参加	6,000	6.8.19
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分677名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	33,511,500	6.10.31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	6.11.14
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	6.11.15
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分676名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	26,769,600	7.1.31
計		10件	/	/	81,013,800	/

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加	円 4,000	7.5.2
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	7.6.30
3	東海地区学校図書館研究大会参加費	東海地区学校図書館研究大会運営委員会	開催通知	東海地区学校図書館研究大会参加	3,000	7.7.18
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分645名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,156,500	7.7.31
5	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加	6,000	7.8.15
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	7.9.19
計		6件	/	/	19,199,200	/

建 築 工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度静岡県立浜北西高等学校本館1階事務室エアコン更新工事	浜松市浜名区新原地内	円 1,265,000	円 1,166,000	円 0
		合 計	1件	1,265,000	1,166,000	0

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	令和6年度浜北西高等学校校舎棟トイレ改修工事（建築）	浜松市浜名区新原地内	円 29,161,000	円 28,710,000	円 1,100,000
参考 2	教育管理費	令和6年度浜北西高等学校校舎棟トイレ改修工事（機械設備）	浜松市浜名区新原地内	15,191,000	14,520,000	330,000
		合 計	2件	44,352,000	43,230,000	770,000

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 1,166,000	随契	株式会社 森本電気工業 社	R7.1.20 ~ R7.3.27	円 1,166,000	本館1階事務室内エアコ ン更新	済	令達6.12.12 随契1号 (少額) 支払7.4.14
1,166,000				1,166,000			

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 29,810,000	指名	常盤工業株式 会社	R6.7.25 ~ R6.12.6	円 29,810,000	校舎1階来賓トイレ洋式 化・乾式化・多目的トイ レ、校舎2階職員トイレ の洋式化・乾式化の建築 工事	-	交通基盤部 建築管理局 建築工事課
14,190,000	指名	亜興配管工事 株式会社	R6.7.4 ~ R6.12.6	14,190,000	校舎1階来賓トイレ洋式 化・乾式化・多目的トイ レ、校舎2階職員トイレ の洋式化・乾式化の設備 工事	-	交通基盤部 建築管理局 設備課
44,000,000				44,000,000			

建 築 工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和7年度静岡県立浜北西高等学校本館屋外空調盤 PAC-1 更新工事	浜松市浜名区新原地内	円 627,000	円 561,000	円 0
2	教育管理費	令和7年度静岡県立浜北西高等学校本館5階大講義室避難器具更新工事	浜松市浜名区新原地内	1,166,000	1,166,000	0
		合 計	2件	1,793,000	1,727,000	0

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	令和7年度浜北西高等学校教職員住宅A棟解体工事	浜松市浜名区尾野地内	円 86,702,000	円 80,300,000	円 0
		合 計	1件	86,702,000	80,300,000	0

事 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 561,000	随契	株式会社 木伏電気工業 所	R7.7.15 ~ R7.11.28	円 0	本館屋外空調盤PAC-1更新	-	令達7.6.25 随契1号 (少額)
1,166,000	随契	西遠消防機具 株式会社	R7.9.17 ~ R8.1.30	0	本館5階大講義室避難器 具(救助袋)更新	-	令達7.8.28 随契1号 (少額)
1,727,000				0			

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 80,300,000	一般	とやま建材 株式会社	R7.9.16 ~ R8.3.11	円 0	教職員住宅A棟、付属建 物及び外構の解体	-	財務部 建築工事課
80,300,000				0			

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)

区 分	6 年 3 月 31 日現在		増		減		7 年 3 月 31 日現在		摘要
	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 1,299,256	/	千円	/	千円 41,258	/	千円 1,257,998	
土 地	48,567.41 m ²	1,167,578					48,567.41 m ²	1,167,578	
立木竹	145 本	6,176					145 本	6,176	
建 物	4,936.28 m ² 11,852.92 m ²	106,625				37,222	4,936.28 m ² 11,852.92 m ²	69,403	
工作物	74 個	18,877				4,036	74 個	14,841	
普通財産	/	291,477	/		/	10,791	/	280,686	
土 地	2,341.03 m ²	109,025					2,341.03 m ²	109,025	
建 物	678.99 m ² 1,659.78 m ²	182,452				10,791	678.99 m ² 1,659.78 m ²	171,661	
工作物	8 個	0					8 個	0	
公有財産に 準ずるもの	/	393	/		/		/	393	
電 話 加入権	5 件	393					5 件	393	

公 有 財 産 調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 9 月 30 日現在)

区 分	7 年 3 月 31 日現在		増		減		7 年 9 月 30 日現在		摘要
	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 1,257,998	/	千円 1,129	/	千円	/	千円 1,259,127	
土 地	48,567.41 m ²	1,167,578					48,567.41 m ²	1,167,578	
立木竹	145 本	6,176					145 本	6,176	
建 物	4,936.28 m ² 11,852.92 m ²	69,403					4,936.28 m ² 11,852.92 m ²	69,403	
工作物	74 個	14,841	1	1,129			75 個	15,970	
普通財産	/	280,686	/		/		/	280,686	
土 地	2,341.03 m ²	109,025					2,341.03 m ²	109,025	
建 物	678.99 m ² 1,659.78 m ²	171,661					678.99 m ² 1,659.78 m ²	171,661	
工作物	8 個	0					8 個	0	
公有財産に 準ずるもの	/	393	/		/		/	393	
電 話 加入権	5 件	393					5 件	393	

借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	水路敷地	浜松市 浜名区新原 4279-24	河川敷	橋梁設置	m ² 35.90	円	円 免除	3.4.1 ? 8.3.31	浜松市長	橋梁2箇 所(占用 許可)
	計					35.90		0			
2	建物	事務所建	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄骨鉄筋 コンクリート	1階1部分	m ² 586.98 586.98		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	体育館ト レーニング室
3	建物	事務所建	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄骨鉄筋 コンクリート	2階1部分	29.21 29.21		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	体育館 管理室
4	建物	雑屋建	浜松市 浜名区新原 4175-1	軽量鉄骨 ・鉄板葺 平屋建		26.38 26.38		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 PTA会長	部室
5	建物	雑屋建	浜松市 浜名区新原 4175-1	重量鉄骨 ・平屋建		67.12 67.12		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	部室
6	建物	雑屋建	浜松市 浜名区新原 4175-1	重量鉄骨 ・平屋建		110.71 110.71		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	弓道場
	計					820.40 820.40		0			
7	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-2	鉄筋 コンクリート		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	庭球 練習板
8	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄骨 ・鉄板葺		個 2		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	雨天 ピッチング 練習場
9	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄柱		個 2		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 同窓会長	時計塔
10	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄柱		個 2		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 同窓会長	照明灯
11	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	鉄骨		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	SBO点灯 表示盤
12	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	石碑		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	20周年 記念碑
13	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	石碑		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 後援会長	部活動の あゆみ 記念碑
14	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	石碑		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 同窓会長	校訓石碑
15	工作物	雑工作物	浜松市 浜名区新原 4175-1	石碑		個 1		無償	7.4.1 ? 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校 同窓会長	校歌石碑
16	工作物	冷暖房装 置	浜松市 浜名区新原 4175-1			個 1		4,917,987	6.7.1 ? 19.6.30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室 空調
	計					13個		4,917,987			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1、4175-2	学校用地	学校敷地	7本	1,500	10,500	7.4.1 12.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所配電建設グループ長	電柱4本 支線3条
2	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	1本	1,500	1,500	5.4.1 10.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	支線1条
3	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	1.60㎡		免除	6.4.1 11.3.31	静岡県立浜北西高等学校後援会長	記念碑
4	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	2.16㎡		免除	6.4.1 11.3.31	静岡県立浜北西高等学校後援会長	記念碑
5	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	0.45㎡		免除	5.4.1 10.3.31	浜松市長	道路照明灯
6	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	0.15㎡		免除	5.4.1 10.3.31	浜松市長	道路反射鏡
7	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-2	学校用地	学校敷地	0.05㎡		免除	5.4.1 10.3.31	浜松市長	道路反射鏡
8	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	1.36㎡		免除	6.4.1 11.3.31	静岡県立浜北西高等学校同窓会長	校訓石碑
9	土地	学校敷地	浜松市浜名区新原4175-1	学校用地	学校敷地	2.82㎡		免除	6.4.1 11.3.31	静岡県立浜北西高等学校同窓会長	校歌石碑
10	建物	事務所建	浜松市浜名区新原4175-1	校舎	R C 建	29.86㎡		免除	7.4.1 10.3.31	静岡県立浜北西高等学校後援会長	購買室
11	建物	事務所建	浜松市浜名区新原4175-1	校舎	R C 建	3.00㎡		4,130	7.4.1 8.3.31	静岡県立浜北西高等学校後援会長	自動販売機3台
12	建物	事務所建	浜松市浜名区新原4175-1	校舎	R C 建	9.9㎡		免除	7.5.1 10.3.31	静岡県立浜北西高等学校PTA会長	PTA職員執務場所
13	建物	事務所建	浜松市浜名区新原4175-1	校舎	R C 建	4.00㎡		1,106,600	5.4.1 8.3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	自動販売機2台
合計								1,122,730			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	浜松市浜名区尾野1011	宅地	宅地	3本	1,500円	4,500円	6.4.1 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所配電建設グループ長	電柱2本 支柱1本
合計								4,500			

職員公舎管理状況調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	Bの内 他事務 所職員 入居戸 (室)数	空家戸 (室)数 (A - B)	摘 要
1	浜松市浜名区 尾野 1011	H 7・3	鉄筋コンクリート 3階建 1棟12戸建	12	-	-	-	A棟 令和7年度解体工事
				12	4	3	8	B棟 23.5.1~空家1 27.4.1~空家1 31.4.1~空家1 3.3.30~空家1 3.4.1~空家1 5.4.1~空家2 7.5.1~空家1 浜北西 1 浜松湖北 1 浜名 1 天竜 1
	計			24	4	3	8	

主 要 備 品 調

(令和 7 年 9 月 30 日現在)

整理番号	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	2 - 1	パソコン用 （一式）	教育用パソコン用 教師機 1 台、生徒機 43 台	毎日（年間 150 日） 授業等に使用	令和 2 年 1 月	円 5,903,832
2	3 - 3	プロジェクター	プロジェクター 24 組	毎日（年間 150 日） 授業等に使用	令和 3 年 3 月	5,610,000
3	2 - 1	パソコン用 （一式）	教育用パソコン用 生徒機 40 台	毎日（年間 150 日） 授業等に使用	令和 3 年 3 月	1,904,109
4	10 - 99	その他の教育用器具	ミキシングコンソール エルモ	年間 50 時間 授業等に使用	昭和 56 年 3 月	1,140,000
5	10 - 12	トレーニング用器具	レック カール&エクステンションマシン セノー B A 2113	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成元年 12 月	1,107,250
6	10 - 12	トレーニング用器具	バクタイ&ローイングマシン セノー B A 2413	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成元年 12 月	952,750
7	10 - 7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ C 3	毎日（年間 150 日） 部活動等で使用	昭和 57 年 1 月	859,000
8	10 - 7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ G-5E	毎日（年間 150 日） 授業等に使用	昭和 54 年 3 月	800,000
9	10 - 6	教育調理器具	教師用調理台	年間 45 時間 授業等に使用	平成 10 年 9 月	682,500
10	10 - 6	教育調理器具	生徒用調理台（10 台）	年間 45 時間 授業等に使用	平成 10 年 9 月	（1 台） 651,000
11	10 - 7	管 楽 器	オーボエ ヤマハ Y O B - 831	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成 16 年 3 月	565,023
12	10 - 12	サッカー用器具	サッカーゴール エパニユー K E 733	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成 11 年 1 月	546,000
13	3 - 2	顕 微 鏡	顕微鏡 島津 C C D S 5 0	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成 9 年 2 月	533,000
14	2 - 1	その他の情報処理機器	平成 28 年度校内 L A N サーバー等	毎日（年間 240 日） 管理用	平成 29 年 3 月	475,956
15	10 - 5	生 物 用 器 具	人体解剖模型（男子） ヤガミ A N - 1 3 0 A	年間 45 時間 授業等に使用	平成 15 年 2 月	462,000
16	1 - 7	製 本 機	丁合機 専用台付	毎日（年間 240 日） 配布資料作成用	平成 24 年 2 月	451,500
17	1 - 4	金 庫	耐火両開式	毎日（年間 365 日） 公印、郵券保管	平成 9 年 2 月	441,149
18	5 - 8	重 量 測 量 機 器	重量測量機器 島津 直示天秤	年間 10 時間 授業時に使用	昭和 56 年 11 月	405,000
19	2 - 2	放 送 装 置	放送装置 松下 W L - S A 1 1	毎日（年間 240 日） 管理用	平成 16 年 12 月	399,000
20	10 07	管 楽 器	チューバ ヤマハ Y B B 3 2 1	毎日（年間 180 日） 部活動等で使用	平成 11 年 1 月	394,000

生産物受払調

(令和7年9月30日現在)

区分	品名 (単位)	パーソナルコンピューター (GPUなしCPUi5)				パーソナルコンピューター (GPUありCPUi7)				計				
		令和5 年度 a	令和6 年度 b	監査調 書作成 日現在	差 b-a	令和5 年度 a	令和6 年度 b	監査調 書作成 日現在	差 b-a	令和5 年度 a	令和6 年度 b	監査調 書作成 日現在	差 b-a	
全体の生産母体の単位 を次の中から選択又は 適宜記入する。(ア)														
	面積 (ha、a、㎡、 反、等)	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	
	数量 (個、鉢、本、 頭、匹、羽、パック、 等)													
	長さ (m、等)													
	重さ (t、kg、等)等													
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	5	0	
	計	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	5	0	
単位数量 (イ/ア)		台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		/				/				/				
払 高	売払数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	売払金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非売品 数量	分類換	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	5	0
		管理換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	5	0	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	校 長	野澤 博文				
2	副校長	小室 桜子				
3	教 頭	榎本 好孝	保健体育			
4	事務長	中村 明江	事務総括			
5	教 諭	稲垣 和義	国語			
6	"	宮本 克彦	保健体育			
7	"	齋藤 洋一郎	英語			
8	"	奥出 茂雄	数学			
9	"	天野 妙子	英語			
10	"	神谷 晃尚	保健体育			
11	"	野村 里司	数学			
12	"	大場 保幸	理科			
13	"	宮澤 和美	理科			
14	"	藤下 秀尚	英語			
15	"	塚 博 康	英語			
16	"	芥川 広	国語			
17	"	向中野 幸恵	英語			
18	"	橋本 淳子	家庭			
19	"	太田 仁	書道			
20	"	生熊 雅人	数学			
21	"	井上 智明	地歴・公民			
22	"	大井 恵美	英語			
23	"	山本 直子	英語			
24	"	平野 直子	数学			
25	"	渡邊 智子	英語			
26	"	猿田 雅之	数学			
27	"	後藤 直美	英語			
28	"	村松 隆利	数学			
29	"	中園 亮平	地歴・公民			
30	"	小木 智子	理科			
31	"	川島 健史	保健体育			
32	"	後藤 潤一	保健体育			

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
33	教 諭	伊藤 貴能	保健体育		年 月	
34	"	北野 典子	英語			
35	"	渡瀬 公	理科			
36	"	菅川 浩樹	地歴・公民			
37	"	鈴木 琢	地歴・公民			
38	"	岩下 直子	数学			
39	"	嶋田 佳世	地歴・公民			
40	"	谷口 弥生	国語			
41	"	岩崎 春奈	地歴・公民			
42	"	鈴木 優花	国語			
43	"	本多 絢乃	国語			
44	"	久保田 夕葵	国語			
45	"	巻幡 壮志	保健体育			
46	"	成島 江利奈	理科			
47	"	池野 宏樹	英語			
48	"	田中 隆寛	地歴・公民			
49	"	佐久間 桃香	保健体育			
50	"	鈴木 歩未也	国語			
51	"	原 弘 忠	情報			
52	"	多家 千織	国語			
53	養護教諭	福澤 文子	養護			
54	実習助手	池ヶ谷 太郎	理科			
55	主 査	山下 浩治	管財・会計			
56	"	本間 奈帆子	会計			
57	"	内藤 由衣希	人事・給与			
58	主 任	福元 美紗子	庶務・会計			
平 均 年 数					4 2	

臨時・会計年度任用職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	大杉 絵美	国語		年 月	
2	"	田中 菜乃子	理科			
3	非常勤講師	野崎 仲生	地歴・公民			
4	"	池沼 成夫	理科			
5	"	清水 基次	英語			
6	"	小柴 博嗣	美術			
7	"	河野 聖之	音楽			
8	"	大場 直樹	理科			
9	"	前原 一郎	国語			
10	非常勤 劣務職員	太田 雄二	環境整備			
11	"	鈴木 久仁昭	環境整備			
12	非常勤 嘱託員	鈴木 唯奈	事務補助			
13	外国語 指導講師	Maya Kanetake	英語			
14	健康管理医	廣 建志	産業医			
	学校医		内科			
15	"	池谷 真苗	内科			
16	"	月花 環	眼科			
17	"	大嶋 吾郎	耳鼻科			
18	学校歯科医	石川 恵一	歯科			
19	学校薬剤師	松本 政典	環境衛生			

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	5	
30歳以上40歳未満	11	
40歳以上50歳未満	11	
50歳以上56歳未満	9	
56歳以上61歳未満	14	
61歳以上	8	再任用職員 8人
計	58	平均年齢48.3歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 58人 職員数 58人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 0人
B 2		要経過観察 0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 0人
C 2		要経過観察 0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 1(1)人
D 2		要経過観察 11(5)人
D 3		医 療 不 要 44(27)人
区 分 者 計		56(33)人
未 区 分 者 数		2(2)人
合 計		58(35)人

(1)管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2)未区分の理由

ア産休・育休	0人
イ新規採用	2人
ウ自己都合による未受診	0人
エその他	0人